

WORKSHOP

「第5回 えどがわBOXART展」関連イベント ワークショップ ～自分とは何かを考える～

企画・監修の日比野克彦さんが展覧会についてのお話やボックスアート制作のヒントをお伝えします。

日時・場所 ※開始時間の15分前に開場

9.4【木】 18:30～20:00
江戸川区総合文化センター 2F会議室

10.6【月】 18:30～20:00
江戸川区総合文化センター 2F会議室

申込み方法

電話およびホームページにて受付。

8.10【日】 10:00～

電話
江戸川区総合文化センター
03-3652-1106



ホームページ
<https://edogawa-boxart.jp>



ワークショップ受付

参加無料
要予約(先着順)
定員：各日30名程度

日比野克彦（アーティスト・東京藝術大学学長）

1958年岐阜市生まれ。1984年東京藝術大学大学院修了。1982年日本グラフィック展大賞、平成27年度芸術選奨文部科学大臣賞（芸術振興部門）受賞。地域性を生かしたアート活動「明後日新聞社 文化事業部/明後日朝顔」(2003～現在)、「アジア代表」(2006年～現在)、「瀬戸内海底探査船美術館」(2010年～現在)、「種は船航海プロジェクト」(2012年～現在)等を展開。2014年より異なる背景を持った人たちの交流をはかるアートプログラム「TURN」を監修。現在、東京藝術大学学長、岐阜県美術館館長、熊本市現代美術館館長、東京都芸術文化評議会 専門委員を務める。

ACCESS

アクセス

■電車 JR総武線 新小岩駅 南口より徒歩約15分

■バス 新小岩駅南口前③④番乗り場

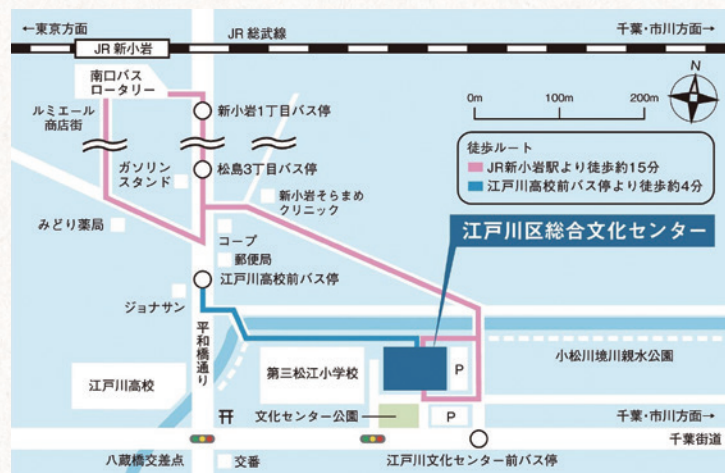
【新小22】葛西駅前行き

【新小21】西葛西駅前行き

「江戸川高校前」下車 徒歩約4分

■駐車場

普通車244台（1時間200円、以降1時間ごと100円）



江戸川区総合文化センターでは、皆さまに安心して施設をご利用いただけるよう、様々な取組を行っています。詳しくは窓口までお気軽にお問合せください。

●身障者用駐車場 ●車椅子貸し出し ●車椅子席・同伴者席の設置 など



江戸川区総合文化センター

〒132-0021 東京都江戸川区中央4-14-1
TEL: 03-3652-1106 (受付時間 9:00～21:30)

<https://edogawa-bunkacenter.jp>

江戸川区総合文化センター



日比野克彦 企画・監修

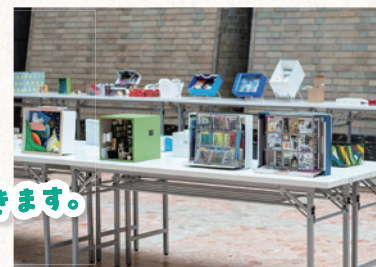
第5回

えどがわBOXART展

作品集

ボックスアートとは？

ボックスアートとは、箱の中の空間を使って、
様々なものを表現する美術作品です。
絵を描いたり、モノを配置したり、自由な表現ができます。



箱の中に自分を表現してみよう
箱の中にある他者の気持ちを
受け入れてみよう



MESSAGE

メッセージ

何も入っていない箱を見たときに、何が入っていたのかな？と思う。

何も入っていない箱を見たときに、何をいれようかな？と思う。

何も入っていない箱を見たときに、私は何かをしようとしている・・・。

箱には不思議な魅力があります。

人間のイメージする力を引き出してくれるような気がします。

そんな気持ちになったら、あとは思いのままにその時間を過ごしてみましょう。

何ができているのかを自分が楽しむ。

できた箱の中の世界を誰かが見てくれることを楽しみにする。

私の世界が、私の手を離れて誰かに届くことを楽しみにする。

BOXARTは世界を広げてくれる不思議な箱です。

日比野克彦



日比野克彦（アーティスト・東京藝術大学学長）



アーティストで東京藝術大学学長の日比野克彦さんを企画・監修に迎え、11/21～12/22に「第5回えどがわBOXART展」を開催します。
公募した作品を中央ロビーに展示し、鑑賞者が気に入った作品があれば会期後に受け取ることができるユニークな試みです。
自分の世界が誰かに伝わる、自分がつくった空間が誰かの日常の一部になることを想像しながら、作品作りを楽しんでください。
皆様からの作品のご応募をお待ちしています。

主催：江戸川区／江戸川区総合文化センター指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ

展覧会 参加の流れ



日比野克彦さんのメッセージ動画を視聴 <https://edogawa-boxart.jp>

BOXARTがどういうものか、どういうふうに作品をつくっていくかなどのヒントになる動画を、エントリー前に見てください。



えどがわBOXART展
公式HP



9.1【月】～10.15【水】必着 エントリー受付期間

はじめに作品募集にエントリーします。エントリーの方法は、右ページ下の「エントリー」を確認してください。



10.16【木】～10.31【金】必着 作品受付期間

エントリー後、事務局より作品受付票を送ります。作品と作品受付票を事務局に持ってくるか、郵送で送ってください。



11.21【金】～12.22【月】 展示期間 中央ロビー 8:30～22:00 入場自由 12.7【日】 授賞式

募集した作品を中央ロビーに展示します。入賞者への授賞式があります。作品を気に入って持ち帰りを希望する方がいた場合は、作品をお渡しする場合があります。



12.24【水】～1.18【日】 作品受取期間

他の方へお渡しすることが決まった作品、他の方へのお渡しがなく持ち帰りを希望する作品は、事務局窓口へ受け取りにお越しください。

募集要項

【応募資格】

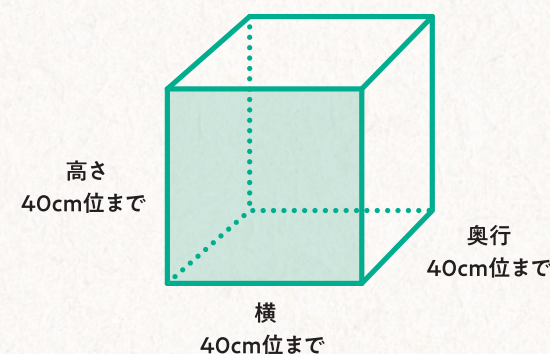
年齢、お住まいの地域、制作経験の有無を問わず、どなたでも応募ができます。

【応募点数】

1作者につき3点まで応募ができます。

【作品規定】

展示の制約上、以下のサイズを最大値とします。



※上記の大きさに収まるものであれば、小さくても可

箱の素材……段ボール、紙、木など自由

その他……表現は箱の中に限ります。箱に色を塗るのは自由です。

【作品制作の注意】

- 電気・電池を使う作品は事務局にお申し出ください。
なお、電気・電池は会期中全てにおいて使用できるとは限りません。
- 鑑賞者の手が触れる場合があるため、素材は必ず固定してください。

【応募できない作品】

- 受賞したことのある作品
- 腐りやすい素材(生花、食べ物など)を使用した作品
- 危険物(発火物、毒物など)を使用した作品
- 壊れやすい作品(保管、展示できないもの)
- プライバシー権や肖像権、著作権、商標権に抵触する作品
- 勧誘目的など、表現とは別の意図がある作品

【応募条件】

以下の事項に同意の上、ご応募ください。

- 会期中は作品を必ず展示してください。
- 作品は作品図録への掲載、主催者の記録撮影、主催者のウェブサイトやSNS、その他メディアへ掲載されますので、予めご了承ください。
- 第5回えどがわBOXART展、およびワークショップや授賞式等の関連イベントの様子を記録撮影します。
撮影した画像や映像は、主催者のウェブサイトやSNS、その他メディアへ掲載されますので、予めご了承ください。
- 応募作品は賞のための審査があります。「審査について」をご確認ください。
- 会場で作品を鑑賞された方が作品の受け取りをご希望された場合は、作品が譲渡される場合があります。
- 応募作品の所有権は原則主催者に帰属します。

【作品返却について】

原則応募作品の返却は行いません。

ただし、作品が譲渡されず、作品受取期間に事務局窓口にお越しいただける場合は返却いたします。

郵送での返却は行いません。引取りの際は、作品を入れる袋などをご持参ください。

審査について

エントリーされた作品は賞のための審査ののちに、展示します。

審査により以下の賞が授与されます。

【賞】審査委員賞(江戸川区長賞、日比野克彦賞)

- 入賞者に賞状をお渡しします。
- 賞金はありません。

【授賞式】12月7日に江戸川区総合文化センターで行います。

エントリー

いずれかの方法でエントリーしてください。

- えどがわBOXART展公式ホームページの受付フォームより

エントリーはこちらからできます

えどがわBOXART展公式ホームページ

<https://edogawa-boxart.jp>



エントリー受付

- 事務局にエントリー用紙を持参

- 事務局にエントリー用紙を送付

※エントリー用紙はお一人につき1枚、提出をしてください。ホームページからのエントリーの場合は不要です。

※応募作品に関して発生した何らかの損害に対して、主催者は一切責任を負いませんのでご了承ください。

✂キリトリ

📄 エントリー用紙

✂キリトリ

「第5回 えどがわBOXART展」		エントリー期間 9/1(月)～10/15(水)必着	
応募者名	ふりがな	年齢(年代) または 学年	歳(代) 年
保護者名	(中学生以下の場合ご記入下さい)		
住所	〒	応募点数 点	
連絡先	TEL	メール	
確認事項	☐ 募集要項に同意の上、エントリーいたします。		
事務局記入欄		No.	受付日
			担当者名

作品受付

作品と作品受付票を事務局に持参、または郵送にてお送りください。

【送付先】

江戸川区総合文化センター「えどがわBOXART展 事務局」

〒132-0021 東京都江戸川区中央4-14-1

TEL: 03-3652-1106(受付時間 9:00～21:30)

個人情報の取り扱いなど注意事項

記載の個人情報は、以下の目的の範囲で利用させていただきます。

- ①本展覧会事業に関する連絡、本展覧会事業が実施する関連事業のご案内(次年度以降も含む)
- ②展覧会、作品図録、主催者が発信する情報媒体、メディアでの作品名および作者名掲載